

大和町中央通りにおける残地等を活用した移動販売及び  
にぎわいの創出に関する社会実験について

1 主な趣旨

東京都が進める大和町中央通り(補助227号線)の拡幅に関しては、これまで道路拡幅に伴う残地等を活用したベンチの設置や地域のにぎわい交流の場の形成など、区に対して地域から要望が出ていた。

こうした要望等を踏まえ、大和町地区の防災まちづくりに合わせて、道路拡幅後の沿道等を活用したにぎわい形成に向けた社会実験の可能性について、区は東京都やUR都市機構に用地の貸出等の協力を求めてきた。

この度UR都市機構と調整し、大和町中央通り沿道でUR都市機構が所有する土地を区が借り、移動販売車・ベンチを設置した社会実験を行うこととなったので報告をする。

2 実施場所

大和町中央通り沿道のUR都市機構が所有するまちづくり用地(別添地図参照)  
中野区大和町二丁目48番(約57㎡)

3 実施内容

週一回の移動スーパーによる生鮮食品等の販売及びベンチの設置

※当該移動販売車は、都営若宮アパート等で移動販売を行っているが、そのルートの途中で本用地でも販売する。

4 実施期間(予定)

令和6年10月11日(金)～令和7年2月末  
(毎週金曜日 12時～13時)

5 地域への周知等

地元町会、商店会への周知及び大和町地区全体へのチラシの配布等を行う。

実施場所

大和町二丁目48番(面積 約57㎡)

